

第2次みよし市総合計画策定に伴う地区まちづくり懇談会

会議名	第2次みよし市総合計画策定に伴う地区まちづくり懇談会(黒笹地区)
日時	平成29年7月16日(日) 午前10時～11時20分
場所	黒笹公民館ホール
出席者	(市長)小野田賢治 (政策推進部長)増岡総一郎、(政策推進部参事)佐藤正美、(総務部長)原田清明、 (市民協働部長)柴田修、(福祉部長)小野田朗、(子育て健康部長)近藤正敏、 (環境経済部長)廣戸伸行、(都市建設部長)宇野勉、(教育部長)柴田圭一 (事務局)政策推進部 溝口次長 企画政策課 竹内課長、近藤副主幹、三浦主任主査 (株)長大 後藤、石田、宮之上 (参加者数)39名
次第	1 あいさつ(市長) 2 議題 (1)第2次みよし市総合計画の策定について (2)第2次みよし市総合計画の策定にむけての意見提案 3 あいさつ(お礼のあいさつ・市長)
会 議 録	
1 あいさつ (市長)	
<p>皆様、おはようございます。市長の小野田賢治でございます。本日は公私共にご多用の中、お集まりいただき誠にありがとうございます。また、行政各般にわたり格別なるご理解とご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。ありがとうございます。</p> <p>さて、昨日に引き続いて今日も三好池ではカヌー競技がございます。今日は第38回の東海ブロックカヌー大会ということで、東海地区4県の国体への予選大会が三好池で行われています。愛知県は昨年度は残念ながら優勝できませんでした。その前の3年間は国体カヌー競技で優勝しました。3連覇というのは今までなかったので、昨年度は4連覇を目指してやっていたのですが、残念ながら4連覇はできませんでした。今年度は新たに狙っていこうということで意気込んでおります。</p> <p>さて、第2次みよし市総合計画は、平成31年度から平成50年度までの20年間の基本構想と、10年間の基本計画、3年ごとの実施計画を策定していく、大掛かりなものでございます。基本的な考え方につきましては、この後パワーポイントを使って説明いたします。今回の地区まちづくり懇談会において、本市や皆様の住んでみえる地区を将来どのようなまちにしていきたいかを、直接皆様からご意見やご提言をお聞きして、新総合計画の基本構想、基本計画を作る参考にしたい、そして皆様と一緒にまちづくりを進めたい、という強い思いがございます。</p> <p>皆様の忌憚のないご意見・ご提言をいただきますようお願い申し上げます。簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いたします。</p>	

No.	行政区・性別	意見等
1	黒笹・男性	<p>回答は必要ないが、意見のみ言わせていただく。</p> <p>①総合計画は土地利用というのが大きな問題だと思う。資料にはこれから人口減少となると書かれているが、みよしはまだ少しずつ伸びており、ありがたい。今から市街化区域を増やすのは、県との調整からも無理だと思う。みよしの中でも、みなよし地区には1番多くの工場があり、収入が多く、財政の基礎になっているわけだが、住宅地はきたよし地区、なかよし地区に比べ広がりが少ない。もう少し開発を広げるとすれば、みなよし地区にもっと計画があつてよいと思う。</p> <p>②黒笹駅と三好ヶ丘駅の2つがあるが、駅周辺があまり変わっていないという感じがする。わざわざ市街化して土地区画整理事業等を市が実施するのではなく、地区計画等により、民間が開発できる可能性を広げるために1km圏内とは言わないが、500m圏内を都心のような形で開発しやすいまちづくりにしてもらえるとういと思う。</p> <p>③農業に関してだが、農政は非常に難しく、総合計画で書きにくいところであると思うが、最近の国の政策は大きな農業規模拡大ばかりで、企業に農地を渡すということも言っている。基本は家族経営が大事だと思うので、家族経営が成り立つような計画を盛り込んでもらえるとういと思う。農業の機械は非常に高いので、個人で買った場合にも購入費補助をしてもらえるとうい。ヨーロッパの農家は、80～90%補助金で賄われるが、そうでないと農業を維持していけない。イノシシが多くて本当に困っている。儲からない農業で獣害にも困っているので、些細なことだが対策などを計画に折込んでもらいたい。</p>
2	黒笹・男性	<p>①まちづくりの中で公共施設をなかよし地区へという意見があるが、北の玄関口である黒笹に公共施設が何もない。三好ヶ丘にサンネットがあり、公共機関があることは承知しているが、黒笹周辺にスポーツ施設でもよいし、文化的なものでもよいが、公共施設を造ってほしい。</p> <p>②交通の利便性についてだが、駅からベイシアへ行こうとした場合、コミュニティバスを使うと30分かかる。豊田厚生病院への利便性は改善したということは承知している。しかし、黒笹駅から南の方に行こうとすれば、全てが東の方に迂回していく。そのためにベイシアに行くのに30分、市民病院や市役所、イオンモールへ行くのに45分から1時間かかってしまう。くろまつくんとさつきちゃんの2本があるが、1本は豊田厚生病院の方に、1本は市の中心の方へ直接に行くものがほしい。これから高齢化が進むのであれば、近くの駅を拠点にしてほしい。1本ぐらい市の中心の方へ向けて持って行っていただきたい。</p>
3	三好丘あおば・女性	<p>資料に「歩いて暮らせるコンパクトなまち」と書かれている。私は三好丘に以前住んでおり、今は三好丘あおば在住だが、当初暮らし始めた頃は駅前にスーパーもあり、とても便利だったが、今は買い物に行くには車がないと不便である。黒笹までは歩いて行ける距離ではなく、電車で買い物に行くにも大変である。やはり駅前のカリヨンの活性化はとても重要なことだと思う。皆が行きやすい、買い物等ができるような施設になるとよい。高齢化が進む中で、コミュニティバスがもっと便利だったら乗るが、例えばイオンに行くにも1時間はかかる。また、サンライブ等で学習の機会があつても、なかなか行きにくい。このため、北部地区でもこういった学習のチャンスがあると、近くの方々が行けるのではないかと思う。サンライブだけではなく、せっかくカリヨンという場所があるので、それをもう少し有効に使っていただきたい。バスについては、例えば学習講座があるときには、時間に合わせたピストン輸送をしてほしい。開催時間に到着できるように2本、3本のバスを北部から出してほしい。また、サンアートについても、大ホールでイベント等がある際にピストン輸送してほしい。そうすると北部の方も気楽に行けるし、免許の返納もできると思う。</p>
4	三好丘あおば・男性	<p>名古屋と、豊田の工場群に挟まれた状況にみよし市はあるが、その中で、朝と夕方の交通量調査をされていると思うが、例えば、あおばの前の東海学園のすぐ前の道が非常に朝混む。抜け道になっている。交通量調査をして、総合的な見方・見地で、交通量を円滑にしてほしい。速いスピードで通ったら交通事故が増えるかもしれないが。</p> <p>我々は、名古屋に行って、夜、みよしへ帰ってきて住むという形になる。忘れ物をしたときにUターンして戻ろうとしても、遅刻するため絶対無理である。片方の道は円滑に通れるのに、片方が混む。交通量を全体的に調べてみれば、国道153号が1番重要なかもしれない。2車線の153号でも渋滞している。工場に入る間口を広げて、専用の道路を作ったとしても何の問題もないと思うので、みよし市の立場でお話されるというのも「あり」だと思う。</p>

No.	行政区・性別	意見等
5	三好丘あ おば・男性	先ほど、「公共施設がこの辺りにない」という意見があり、「困っていることは何か」という意見のやりとりがあったが、個人的には困ってからでは遅いと思う。例えば、新しい家を建てると言ったとき、商業施設が発達し始めている日進や長久手を選択しようとする人が周りに多く、みよしは外されてしまっている。困る前に困らないところに移動しているので、困っていることを聞かれるというのは何か違う気がする。困る前に、みよしには大きい病院がないとか、商業施設がないとか、図書館がないとか、そういったところに対応するような都市計画を立てていかないと、今後の人口減少に対応できなくなると思う。
6	三好丘あ おば・男性	道路交通網のことで確認したい。三好丘あおばには大きな幹線が2本あるが、1本は東海学園前を通る道である。あと1本は名鉄沿線の北側を通る道で、これが途中で、三好ヶ丘駅から200mぐらい手前で止まっている。あおばの中に工業団地などができたことで非常に交通量が増えている。朝は渋滞している。今後、計画の中に入れていただきたい。前回は計画の中に入っていると聞いたが、なかなか進展していないと思うのでお願いしたい。また、豊田知立線について、ちょうど「モスバーガー」から産婦人科方面へ向かう道だが、非常に狭い。2車線になってはいるが、片側1車線で、人が通れない。大型トラックがたくさん走行しており、怖くて歩いて通れない。一時拡張していただけたらと思うが、また止まっているので進捗を教えてください。
7	黒笹・男性	①名古屋から米野木駅までは、駅周辺に商店街があったり、繁華街があったりして開けているが、特に黒笹、三好ヶ丘駅に来ると「田舎の駅」という感じになる。商業施設がない。せっかく国道153号がみよしのまちの中を通っていながら、ジャスコはあるが、他の商業施設はない。実際にはあるが、木が大きくなりすぎて見えない。岐阜市内を通る国道21号沿道はとても開けている。岐阜から大垣にかけては両側に商業施設がたくさんあり、そこを通過する人もそこでお金を落としていく。 今の若い人は、日進や長久手に最初は住みたいと思うが、2、3年もすると嫌になって引っ越ししてしまうとよく聞く。しかし、みよしは最初は住みたくないと思っても、1回住むと自分の子の代になるまで住んでもいいかなというまちだと思う。自然も豊かで、愛知県でここだけしかないという植物もある。歴史もある。そういう心の故郷みたいなまちだと思う。市民だけではなく、みよしを通過する人もそこで止まってお金を落としてくれるような商業施設などが駅の近くや153号沿いにあつたらもっと良いと思う。 ②今、まちをつくるときに袋小路のまちが結構多い。災害が起きて、例えば救援隊が来たときに、袋小路だとすごく時間がかかるという話を聞く。つい最近も九州や東北地方で災害が起きているが、建設業界任せの設計ではなく、みよし市が住む人の安全を考えて、まちづくり、地域づくりを考えていただけたら嬉しい。
8	三好丘お あば・男性	もう少し各地域に公園の整備をしてほしい。この辺りだと三好丘緑地、三好池の周りの公園、あと保田ヶ池の向こうに公園があるが、三好丘緑地は遊具がない。三好池には奥の方にあるが、規模はそんなに大きくない。保田ヶ池までは子どもたちはなかなか遊びに行けない。実際、今日自分の家族も公園へ行ってるが、豊明の方まで行ってしまっている。そこには子どもたちが水に入って遊べる公園があって、そっちの方が楽しいということを知る。もう少しどこかに一箇所、三好池の下の公園のところにも、子どもたちがいっぱい遊べる遊具や大規模な遊具があるとよい。

No.	行政区・性別	意見等
9	三好丘あ おば・女性	<p>資料の「人育て」のところで、社会と時代を担うというような表現になっているが、60歳を過ぎた我々の年代には、色々なノウハウを持った人が多い。子どもたちだけではなく、そういう人たちも含め、年代に限らず、人を育て、人を生かすまちづくりに取り組んでもらいたい。60歳過ぎの方の中には、いきいきと活躍できる場がなくてうずうずしてる方が多いと思う。今後の基本構想の中で、子どもたちだけではなくて、私たちの年代もとらえていただけないか。また、カリヨンの活性化の際にはまちづくりに参画できないかと考えている。</p> <p>例えば、カリヨンの活性化プロジェクトチームを作り、だれでも参加できるようにしてはどうか。年代的に幅広く集まったプロジェクトチームを作れば、わりと自由に参加できる。シルバー人材センターに加入するとなると色々制約があり、自由にできないかもしれないと考えてしまう方が多いだろう。例えば、私の周りであれば料理が上手な方がたくさんいらっしゃるの、駅前の活性化と合わせて、カリヨンで家庭の料理を提供する。我々の年代は毎日だと負担になるので、月曜日はこのグループ、火曜日はこのグループというように、1dayシェフのようにする。近所の方々との交流も生まれる。気楽にできて、責任を持ちながらでき、責任者もいる。そういったプロジェクトチームを作ってやるというのは、まちづくり、まさしく、ひとづくり、人活用だと思う。あるいは、パソコンの操作を指導するパソコン塾のようなものも良いかもしれない。アイデアはプレゼンをしてもらった上で、予算を決めて、その中でやりくりできるようにする。せつかく場所があるので、そういった活用方法をしたい。場所があるのもったいない。人もいるのもったいないと感じている。</p>